

## 11 月定例記者会見の概要

1 日 時 令和 6 年 11 月 1 日（金） 9 時 30 分～10 時 00 分

2 場 所 本庁舎 2 階 正庁

3 出席者 <報道機関>

- ① 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ② 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ③ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ④ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）

計 5 社

### < 市側 >

・市長・総務部長

（テレビ会議）

- ・新田副市長・小高区役所長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・市民生活部長
- ・健康福祉部長・こども未来部長・商工観光部長
- ・商工観光部企業立地担当理事・農林水産部長
- ・農林水産部政策担当理事・建設部長
- ・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 16 人

（司会進行）秘書課長

（会議記録）秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

はじめに、貝塚観察館のグッドデザイン賞受賞についてです。

浦尻貝塚縄文の丘公園の中心施設である「貝塚観察館」が 10 月 16 日、2024 グッドデザイン賞を受賞しました。

貝塚観察館やガイダンス棟のシンプルなデザインに加え、縄文スコープで当時の生活を覗き見たり、貝塚に触れることができたりと工夫を凝らした展示なども楽しめます。ぜひこの機会に足をお運びいただきたいと思います。

次に、三菱倉庫との連携協定締結についてです。

三菱倉庫株式会社と本市は 10 月 18 日、連携協定を締結いたしました。

同社が本市において、物流や宇宙関連事業をはじめとする次世代産業の事業開発を行うにあたって、市と協力して、技術開発を行いやすい環境づくりや、市内の物流・不動産事業を中心とした産業活性化を図るため、連携協定を締結するものです。

次に、ペンドルトン市への派遣報告会についてです。

10月19日に、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ペンドルトン市へ今年8月に派遣した市内の高校生6人による報告会を開催しました。

高校生たちからは授業で習う英語と本場の英語の違いや文化の違いなどの気づきがあり、自国について改めて知る機会になったとの意見が聞かれるなど、相互理解が図れたと感じております。

今後も、両市の友好親善を図りながら、子ども達が豊かな国際感覚を身に付けられるように取り組んでまいります。

次に、女性の活躍推進に向けた取り組みについてです。

市では、女性が職場や家庭、地域などで自分らしく生きていくことを後押すため、全5回となる「“未来の私”が楽しくなるワークショップ」を開催し、10月26日に最終回を迎えました。

ワークショップに参加いただいた20代から40代の女性22名からは、「物事に対する新しい視点や感じ方を見つめ直せた」「チャレンジすることが大事だと改めて感じた」との意見が寄せられました。

今後も、女性が自分らしく、前向きに輝いていけるまちづくりに取り組んでまいります。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、秋のイベントについてです。

朝の冷え込みも増し、徐々に秋の深まりを感じる季節となってきました。市内各地区で文化祭やおだか秋まつり、かしま産業祭、相馬野馬追振興秋季競馬大会など様々な催しが開かれています。11月3日には「あきいち」と交流自治体フェアなど、11月16日から19日まで南相馬市総合美術展覧会が開催される予定ですので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

次に、行政区への加入促進についてです。

11月は行政区加入促進月間です。市区長連絡協議会と市は、行政区加入促進街頭キャンペーンを各区で行います。11月6日に原町区のヨークベニマル原町西店、11月13日に小高区のダイユーエイト小高店、11月26日に鹿島区のプロスコキクチ鹿島店で行う予定です。

また、11月11日には、4行政区の区長が地域の課題や独自の事業を発表する行政区地域活動事例発表会とポスターコンクールの表彰式をサンライフ南相馬で開催いたします。

この機会により多くの皆様に、行政区の取り組みや重要性についてご理解いただき、地域のつながりや支えあいの輪に加わっていただけるよう周知に努めてまいります。

次に、市総合防災訓練についてです。

前回の10月定例記者会見でもご報告いたしました。11月5日に市内各地で市総合防災訓練を開催します。

当日は、岩手県沖でマグニチュード7、震度5強の地震が発生した後、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された状況を想定して実施します。現在、市民約150人に参加いただくほか、小高区の小中学校、認定こども園、産業技術高校の児童生徒や、関係機関の皆様にも参加いただく予定です。

当日、訓練に参加されない市民の皆様も、ご家族と一緒に危険箇所を確認いただくなど、日ごろからの防災への備えをお願いいたします。

次に、こども未来フェスティバルについてです。

市では11月16日に、ゆめはっとと野馬追通り銘醸館で「こども未来フェスティバル」を開催します。

子どもたちによるダンスや音楽などのステージ発表のほか、本市の子育て支援情報ブースやワークショップエリア、こども縁日コーナーなどを設ける予定です。

当日は高校生も、運営スタッフとしてイベントを盛り上げます。ぜひお越しください。

次に、あかりのファンタジーイルミネーション in おだかについてです。

2002年にスタートした冬の風物詩が、今年も開催されます。小高観光協会の主催で、11月16日から来年の1月13日までの約60日間、小高区内の27カ所でイルミネーションが点灯されます。

初日の16日は、小高浮舟ふれあい広場で点灯式を開催します。心温まるイルミネーションを、ぜひご覧ください。

次に、金婚祝賀会についてです。

11月22日に、ホテルラフィーナで、結婚50年を迎えるご夫婦をお祝いする金婚祝賀会を開催いたします。今年は15組30人に出席いただきます。

この度金婚を迎える皆様のご結婚された昭和49年は、巨人の長嶋茂雄選手の引退や、佐藤栄作元首相のノーベル平和賞受賞などの出来事があった年でした。

夫婦で手を取り合って苦楽を共にし、励まし助け合いながら、半世紀の長い年月にわたって家庭を支えてこられた皆様にお祝いを申しあげるとともに、末永いご多幸を祈念いたします。

最後に、「My じんけん宣言」セレモニーについてです。

市では、「ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権条例」の基本理念に基づき、市民に寄り添い、必要な人権施策の推進を図っています。この取り組みの一環として、今回法務省のプロジェクト「My じんけん宣言」を本市が表明することとし、改めて人権啓発の推進に努めることを宣言いたします。

県内の自治体が宣言するのは、本市が初めてで、全国では2例目となります。セレモニーは記者会見終了後、この会場で行いますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

## 【質疑応答】

### 質問 1:

先日投開票があった衆院選は、県内の区割りが見直されてから初めての選挙となりました。4区の結果についての受け止めをお聞かせください。

### 回答 1: 市長

衆議院は法律を制定したり予算を組んだりする、あるいは国の安全や景気対策、さらには少子高齢化時代に向けた社会作りという役割を担う重要な場所と思います。各政党にそれぞれ立場はあろうかと思いますが、国益のためにしっかりと頑張りたいと考えております。

加えて、本県は原発事故からの復興の途上にあります。この地域の状況をつないでいただき、復興が速やかに進む支援体制を期待しています。

人口減の状況で区割りが変更されましたが、区割りの変更に関わらず、ぜひ議員の皆様には福島復興に力を発揮していただきたいと思っております。

### 質問 2:

JR 東日本が、利用者が少なく経営が厳しいとされる路線を公表しました。その中には、常磐線の県内区間も含まれていました。南相馬市は毎年、JR に要望書を提出してこられたと思いますが、今回の公表についてどのように受け止めていらっしゃいますか。

### 回答 2: 市長

JR 東日本は独立した会社ですので、収益を上げていくことが大切であると理解しています。それと同時に、特にこの浜通り地域にとって JR 常磐線は人々の生活の足であり、経済活動の大きな基盤となるものです。

これまで常磐線活性化協議会の会長として毎年のように要望に伺っており、大きく分けて二点を申し上げております。

まずは利便性の向上です。特急ひたちの全線再開通に御礼申し上げるとともに、ぜひ便数をできる限り増やしてほしい。朝の時間帯で早い便を運行したり、夕方時間帯を遅く運行したりするなど、より乗りやすくなったり、便数が増えたりすることで必ず利用が増える側面があります。それは復興する上で必要なことだと思っています。

次に、デスティネーションキャンペーンのように市としても利活用の向上策に力を入れたいと考えています。例えば本市では、近隣に通学する高校生以上に通学定期券購入費の一部補助等を行っております。

それぞれの駅舎は、その地区の顔です。百何十年前に開通した鉄道ですが、今でも駅舎周辺が賑わいの中核でもあります。そうした賑わいの創出などに協力していきたいので、お力をいただきたいと要望しています。

以上